



牛の飼養・衛生管理に関するセミナーの開催について

1 開催趣旨

酪農をはじめとする我が国の畜産を取り巻く情勢は、飼料高騰、高齢化の進展などによる労働力不足など、厳しい状況が続いています。家畜衛生面では、高病原性鳥インフルエンザの季節的な流行、野生イノシシでの豚熱の発生、また、昨年末には、九州で我が国初のランピースキン病の発生が確認されたほか、温暖化による家畜の飼養環境の変化がもたらす影響が懸念されます。畜産経営が生産性を向上させていくためには、このような課題に適切に対応していく必要があります。

本セミナーでは、そのような課題に取り組む上で重要となる、家畜の感染症の発生予防・まん延防止、アニマルウェルフェア、スマート農業技術の活用に加え、野生動物（特にエゾシカ）に焦点を当て、「牛の飼養・衛生管理とワンヘルス・アプローチ」というテーマで、4名の専門家より講演頂くとともに、家畜改良センター新冠牧場における乳用牛の飼養・衛生管理に関する取組を紹介します。

2 主催

独立行政法人家畜改良センター新冠牧場

3 開催日時・場所

(1) 日時：2025 年 3 月 26 日（水）13：00～17：00（受付開始 12：45）

(2) 場所：日高生産農業協同組合連合会ビル（3 階）第 1 会議室

（北海道日高郡新ひだか町静内本町 4 丁目 1-6）

駐車場台数が限られておりますので、お車でお越しの際はお乗り合わせでのご来場をお願いします。

4 プログラム（若干変更する場合があります。）

（１）開会の挨拶

（２）特別講演

演題１：「牛の感染症とワンヘルス・アプローチ」（仮称）

北海道大学 One Health リサーチセンター社会連携部門

大学院国際感染症学院・獣医学部 特任准教授 菊池 栄作氏

演題２：「牛伝染性リンパ腫を巡る情勢」（仮称）

北海道大学大学院獣医学研究院 病原制御学分野感染症学教室

先端創薬分野 教授 今内 寛氏

演題３：「北海道におけるエゾシカ対策」（仮称）

酪農学園大学 農食環境学群 環境共生学類 狩猟管理学研究室

准教授 伊吾田 宏正氏

演題４：「日高管内における牛のヨーネ病を巡る情勢」（仮称）

北海道日高家畜保健衛生所 予防課長 高畠 則之氏

（３）新冠牧場の取組紹介

取組１：「ICT を活用した分娩管理」 業務課業務専門役 齋藤 薫

取組２：「除角クリームに関する試験結果」 業務課課長補佐 大藪 武史

取組３：「新冠牧場における飼養衛生管理」 場長 櫻井 健二

（４）質疑応答

（５）閉会の挨拶

5 参加申し込み・問い合わせ先

（独）家畜改良センター新冠牧場・業務課・家畜班（担当：齋藤^{さいとう}・大藪^{おおやぶ}）

TEL：0146-46-2011（受付時間 平日 8:30～17:15）

FAX：0146-46-2565

E-mail（齋藤）：k^{ゼロ}0konno@nlbc.go.jp

※定員になり次第、申込みを締め切らせて頂きますのでご了承ください。